



「中白峰の夏、間ノ岳近し」 撮影:白旗史朗

南アルプス市制施行15周年記念  
南アルプスユネスコエコパーク登録4周年記念

# 南アルプス

## 白旗史朗の世界と「白い峰」

### 写真展

平成30年6月16日(土)～平成31年3月12日(火)

午前9時～午後5時 毎水曜日休館 7月16日～8月31日までは無休

入館料 大人(中学生以上) 500円 小人(小学生) 250円

主催 南アルプス市 山梨日日新聞社 山梨放送  
後援 朝日新聞甲府総局 毎日新聞甲府支局 読売新聞甲府支局  
産経新聞甲府支局 テレビ山梨 NPO法人芦安ファンクラブ  
協力 山岳写真の会「白い峰」

南アルプス芦安山岳館



南アルプス  
ユネスコエコパーク



# 南アルプス 白旗史朗の世界と 「白い峰」写真展

南アルプスユネスコエコパークの核心地域の原生的な自然環境、重量感のある南アルプスの山々に魅力を見出し、白旗氏が山岳写真家として生きる出発点ともなり、氏が生涯のテーマとする南アルプスの作品を展示。また、白旗氏が会長を務める山岳写真の会「白い峰」会員の作品を併せて展示し、神々しくも包容力のある南アルプスに惹かれていった数々の作品を紹介する。



**白旗史朗**(しらはたしろう)  
山岳写真の会「白い峰」会長  
(社)日本アルパインガイド協会顧問  
(社)日本写真家協会  
(社)日本写真協会  
富士学会理事  
(NPO)日本高山植物保護協会会長  
日本山岳会終身会員  
第2次RCC(ロッククライミングクラブ)同人  
カナダ山岳会  
山村民俗の会

## 略歴

- 昭和8年(1933) 山梨県大月市(当時廣里村、のち大月町となり、現在市制施行)に生まれる。
- 昭和26年(1951) 写真の道に入り、プロ作家としての修業を積む。
- 昭和33年(1958) フリーとなる。
- 昭和37年(1962) 山岳写真家として独立宣言。山岳写真を主体に自然風物・内外風景写真を定期刊行物および各種出版物に発表、現在に至る。
- 昭和41年(1966) アフガニスタン中部ヒンズー・クシュ、インド北部・パンジャブ・ヒマラヤ、ヨーロッパ・アルプス全域、ネパール・ヒマラヤ全域を数度にわたって踏査撮影取材。アンデス、カナダ、パミール取材。
- 昭和59年(1984) 韓国全域の山岳・海洋・平地風景・史蹟・国宝・建造物・仏像の撮影。
- 昭和62年(1987) パキスタン、カラコラム全域、ヒンズー・クシュ、ヒンズー・ラジ、ナンガパルバート全域の踏査撮影取材。カナディアン・ロッキーズ取材。
- 平成元年(1989) ヨーロッパ・アルプス、カラコラム取材。大月市「秀麗富嶽十二景」撮影開始。
- 平成2年(1990) 「秀麗富嶽十二景」撮影完了。NHKハイビジョン「四季・南アルプス」の監修と出演ほか。
- 平成4年(1992) ネパール・ヒマラヤ、カラコラムおよびカナディアン・ロッキーズ取材。
- 平成6年(1994) カナダ、コロムビア・マウンテンおよびカナディアン・ロッキーズ全域取材。
- 平成7年(1995) 中国、チベット側ヒマラヤ、ヨーロッパ・アルプス全域およびネパール・ヒマラヤ取材。冬のヨーロッパ・アルプス、インド世界遺産、およびアンコールワット撮影取材。日本百一名山取材開始。
- 平成12年(2000) 百一名山取材終了。平成15年12月現在山行日数8,500日
- 平成25年(2013) 中国・パタゴニア・ヒマラヤ、アルプス、日本各地山岳。ことに南北アルプス、富士山、尾瀬を再取材。

- 昭和52年(1977) 「わが南アルプス」「尾瀬」「富士山」で日本写真協会賞受賞
- 昭和59年(1984) 山梨県早川町立「白旗史朗山岳写真記念館」開設。
- 昭和62年(1987) 山梨県文化功労者表彰。前田晁文化賞受賞。
- 平成元年(1989) 「白旗史朗賞・日本山岳写真コンテスト」を創設・実施、続行中。
- 平成2年(1990) 野口賞(芸術・文化)受賞。
- 平成3年(1991) 独立館としての早川町立「南アルプス山岳写真館・白旗史朗記念館」を新オープン。大月市立郷土資料館に「白旗史朗写真館」を併設。
- 平成9年(1997) 新潟県越後湯沢町に「白旗史朗世界山岳写真美術館」を開設。
- 平成12年(2000) スイス・キング・アルバートI世王記念財団より世界初の山岳写真での芸術表現及び山岳文化貢献に対して、世界初現在まで唯一人キング・アルバートI世功労勲章を受章。
- 平成14年(2002) 福島県檜枝岐村に「白旗史朗尾瀬写真美術館」開設。山梨県政特別功労者表彰。
- 平成19年(2007) 静岡県南アルプス・大井川樞島に「白旗史朗・南アルプス写真美術館」開設。
- 平成25年(2013) 生地・大月市岩殿山に「大月市秀麗富嶽十二景・白旗史朗写真館」を開設。
- 昭和35年(1960) 富士フォトサロン(東京・大阪・名古屋)、山梨県立美術館、東京・渋谷・東急Bunkamuraザ・ミュージアム、東急東横店、JCIサロン、キャノン本社フォトアートギャラリー、八ヶ岳自然ふれあいセンターほかにて「アフガニスタン」「マカルー」「尾瀬」「南アルプス」「富士山」「北アルプス」「ヨーロッパ・アルプス」「ネパール・ヒマラヤ」「白旗史朗の世界」「カラコラム」「韓国的美」「白旗史朗の百一名山」「北アルプス四季」「白旗史朗・日本と世界の名峰を讀う」などの個展44回、アンコール展・合同展多数。
- 平成30年(2018)

## 山岳写真の会「白い峰」

山岳写真の会「白い峰」は、昭和50年(1975年)に結成され、山岳写真家白旗史朗氏を会長とした自然と写真を愛する200名の会員が所属しております。「白い峰」の活動としては、年4回の会山行(国内外の山が対象で原則として白旗先生が同行され直接指導が受けられます)と、随時実施している準山行、支部山行(関西、静岡、九州)があります。「白い峰」のフィールドは幅広く、富士山・尾瀬・南アルプス・ネパールヒマラヤ・ヨーロッパアルプスなど様々な場所で活動いたします。撮影された写真は年4回開催される講評会にて白旗史朗先生から直接の指導をいただいております。また講評会での作品は、毎年フジフォトサロン(東京)のオープニング展で発表されており、その作品はその後各地を巡回。写真集(朝日新聞社、日本カメラ社)も、9冊を数えます。楽しく、真摯に山岳写真の世界に浸りたい方へ入会をお勧めします。  
ホームページ <http://www.shiroidmine.jp>

## 南アルプス芦安山岳館

山梨県南アルプス市芦安芦倉1570 市営芦安駐車場付近  
☎055-288-2125  
ホームページ <http://www.minamialps-net.jp>

